

遠足での楽しかった思い出新聞

普通の家だと思ったら…

私は遠足で、古い建物がたくさんある、美観地区に行きました。ボランティアの方に案内をしてもらい、昔の人達のくらし、工夫、倉敷やこの地域がどのようにできたかななどを教えていただきました。まずは、昔の家の工夫です。一つ目は、窓です。昔は、たくさん火事が起きていました。なので、火事が起きたら窓を締めて、できるだけ安全になるようにされています。二つ目は、壁です。最初の方は、五メートルくらいの壁でした。けれど、雨がふると、穴があいたり、すぐこわれてボロボロになるので、壁を太くしていました。私は、そこまで

気にしていませんでした。昔の人々も、たくさん工夫をしていたということが、美観地区に行ったら分かりました。これから、そのようなことを意識しながら、過ごしていきたいです。



実物を見てどうだったか

私は、たくさん虫がいる、倉敷自然史博物館に行きました。私が、特に心に残ったのは、約百匹の虫で、虹色にしてありました。理由は、集めてきた色々な百匹の虫で、虹色にしようという思い、

実際の物のきれいな様子もすごかったです。



実際にやってみて

私は、科学のことがたくさん知れる、ライフパーク倉敷に行きました。特に心に残ったことは、イライラ棒です。何秒間できるかや、だんだんレベルが上がっていくところが、一番の、いいところだと思ったからです。

また、プラネタリウムも見ました。分かったことは、動かない星があるということです。私は、全部星は、動くと思っていました。けれど、動かなかったもので、びっくりしました。もう一つの分かったことは、たくさん星の中で、青と赤のどちらの星のほうが、温かい？という問題についてです。私は、赤だと思っていました。けれど、青の星の方が温かいということが分かりました。世界は面白いなと思いました。

発行者 宗田沙羅
発行日 十月十九日